

TOTO

浄水器兼用シングルレバー混合栓

TKHG38J型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1.1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

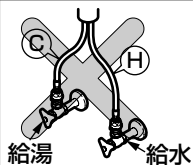
警告



禁止

湯水を逆に配管しない

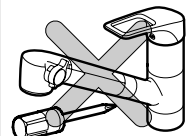
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

フィルターの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行う

また、フィルター取付部が熱くないことを確認する
高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



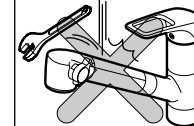
注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



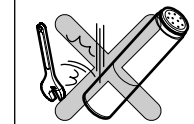
給湯温度は60℃より高温で使用しない

60℃より高温でご使用になると、浄水カートリッジの破損により浄水性能を維持できなくなるおそれがあります。



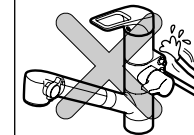
浄水カートリッジを落としたり、浄水カートリッジに強い力や衝撃を与えない

浄水カートリッジが破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなります。



本商品TKHG38J型にはTN506型(アルカリイオン水生成器用本体分岐金具)を取り付けない

アルカリイオン水生成器の接続ホースが外れ、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



吐水口に汚れた手で触れない

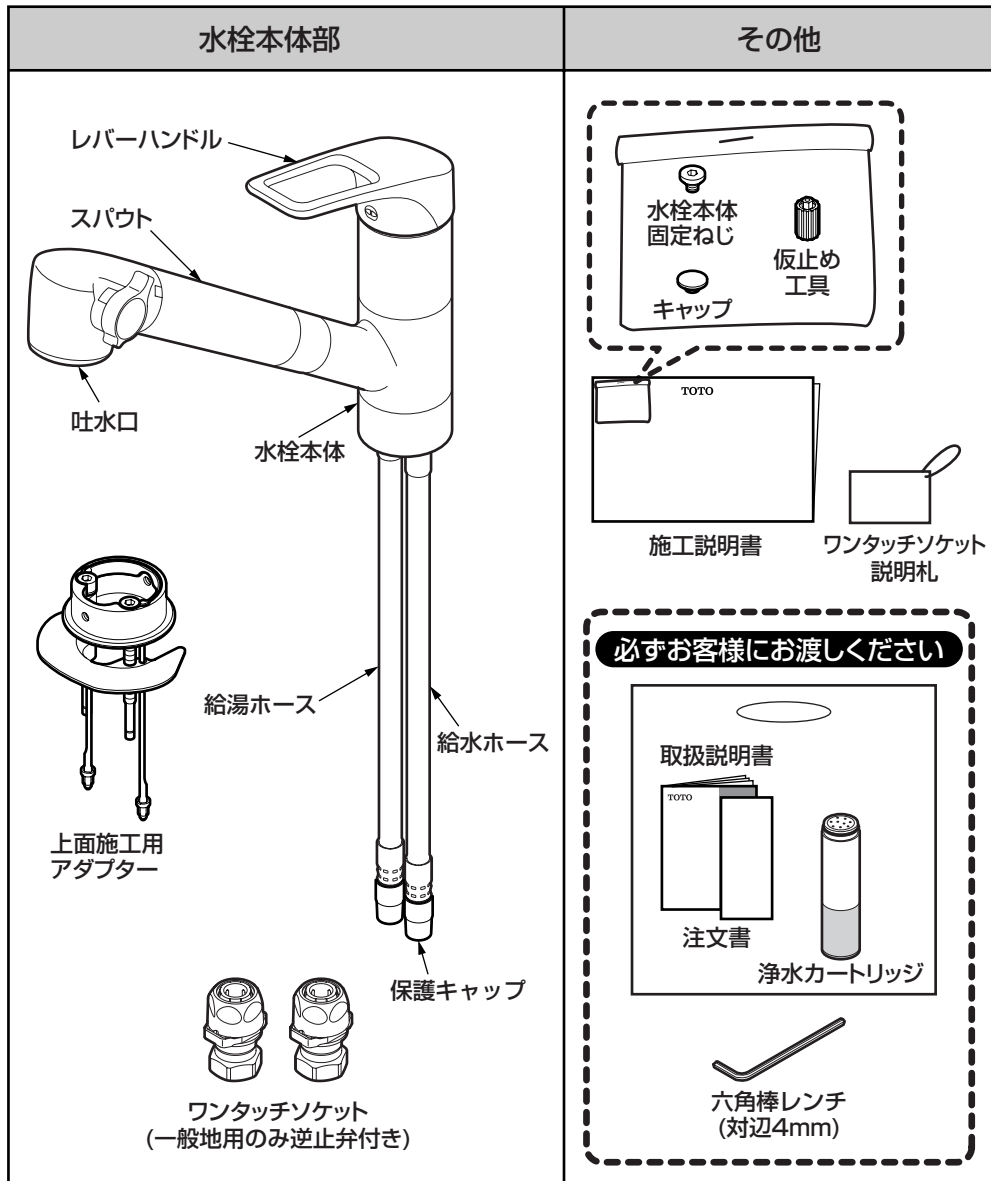
吐水口部に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



5

部品の確認

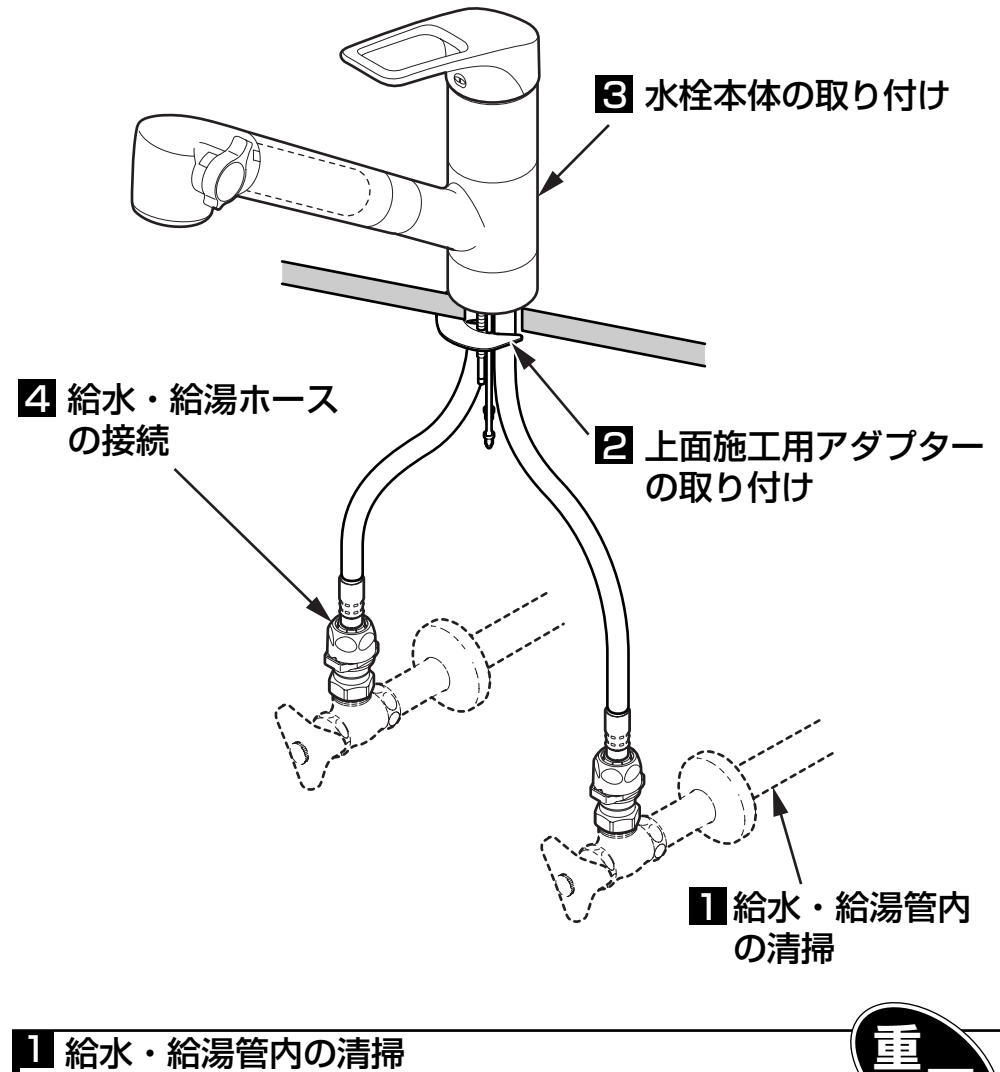
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6-1

施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付けて**ください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板（合板など）を取り付けて**ください。
- 補強板が**十分乾燥した状態で**取り付けてください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り**ドライヤーで乾かして**ください。
- 取付面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取付可能なカウンター穴径は **φ35～φ39** です。

① ボルト・座金（2本）を外して固定金具を取付穴に挿入する。

② 上面施工用アダプターの方向をあわせ、固定金具が当たるまで引き上げ部材を引き上げる。

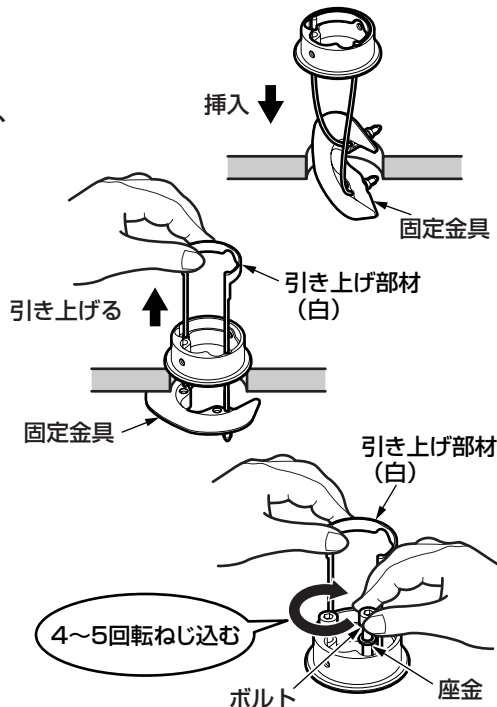
注意

上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。

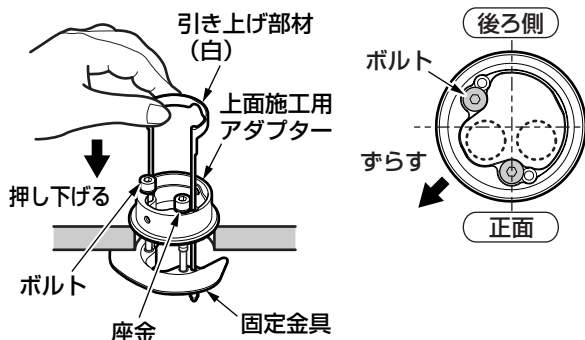


③ 引き上げ部材を引き上げたまま、ボルト・座金（2本）を固定金具に通し、手締めで4～5回転ねじ込む。

※④位置調整のため、最後までねじ込まないでください。



④ 引き上げ部材・ボルト・座金（2本）を押し下げ、上面施工用アダプターを**ボルトの方向に当たるまで**ずらす。

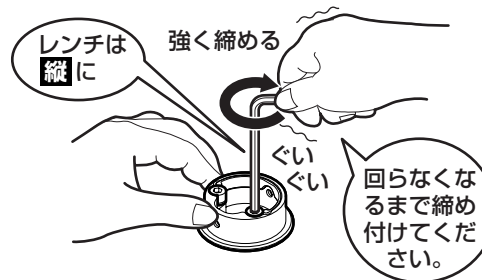


重要

後ろ側
正面
カウンター
ボルト
ずらす
正面

カウンターが見える状態で上面施工用アダプターを固定しないでください。本体挿入時、はみ出したカウンターなどでホースを傷つけ、水漏れが発生する可能性があります。

⑤ ボルトに六角棒レンチを縦に差し込み、**2本のボルトを交互に**強く締め付ける。



⑥ さらに六角棒レンチを横にして**2本のボルトを交互に**しっかり締め付け、確実に固定する。

注意

2本のボルトがどちらも回らなくなるまで締め付けてください。



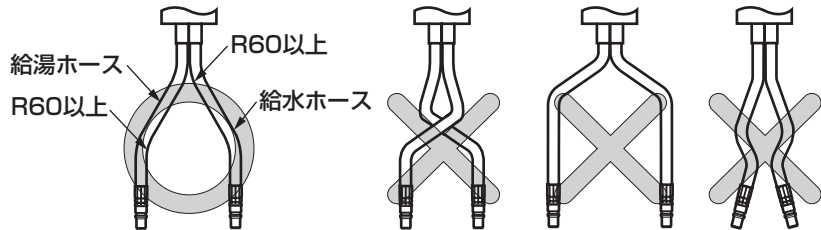
重要

裏面へつづく

6-4

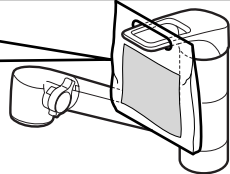
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



施工時には浄水カートリッジを取り付けないでください。実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。

浄水カートリッジが入ったビニール袋は水栓のレバーハンドルに引っかけてください。



7 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分にご説明ください。

現象	説明
使い始めにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

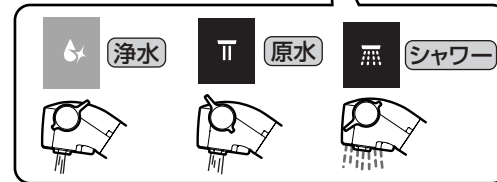
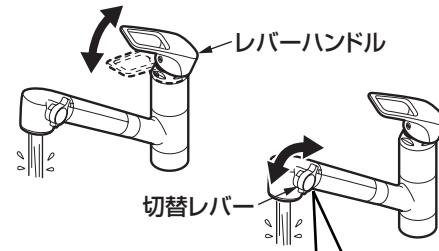
8

施工後の調節

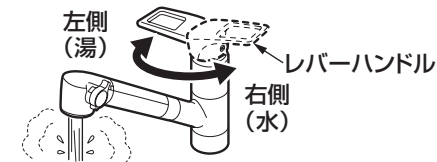
1. 水出し確認

注意 浄水カートリッジは取り付けずに行ってください。

- ①取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開ける。
- ②レバーハンドルを上げ下げし、水の出し止めができることを確認する。
- ③切替レバーを操作し、水流が切り替わることを確認する。
(浄水→原水→シャワー)
- ④レバーハンドルを左右に回し、温度調節ができることを確認する。



※流量が多い場合、および温度調節がうまくできない場合は、レバーハンドルを左側(湯)いっぱいに戻したときと、右側(水)いっぱいに戻したときに、どちらも原水にて約15秒で2Lのやかんを満たす程度の流量(約8L/分)になるよう止水栓を調節してください。

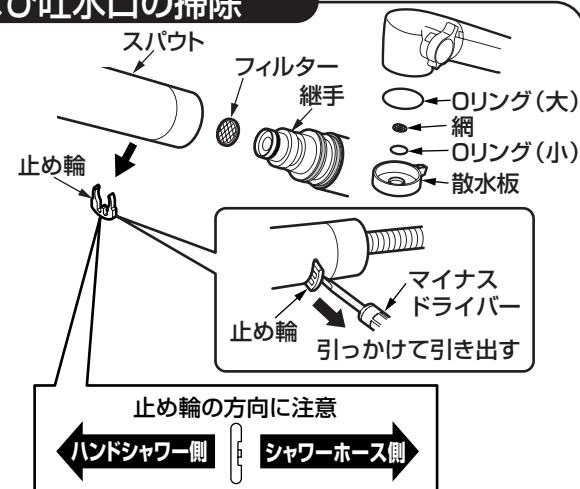


2. フィルターおよび吐水口の掃除

水出し確認後は必ずフィルターおよび吐水口を掃除してください。

フィルターおよび吐水口が詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターおよび吐水口を掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。(詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



止め輪の方向に注意

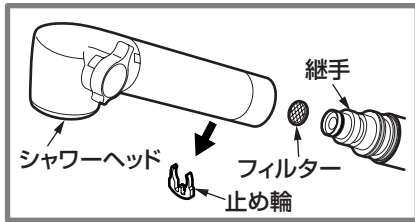


9

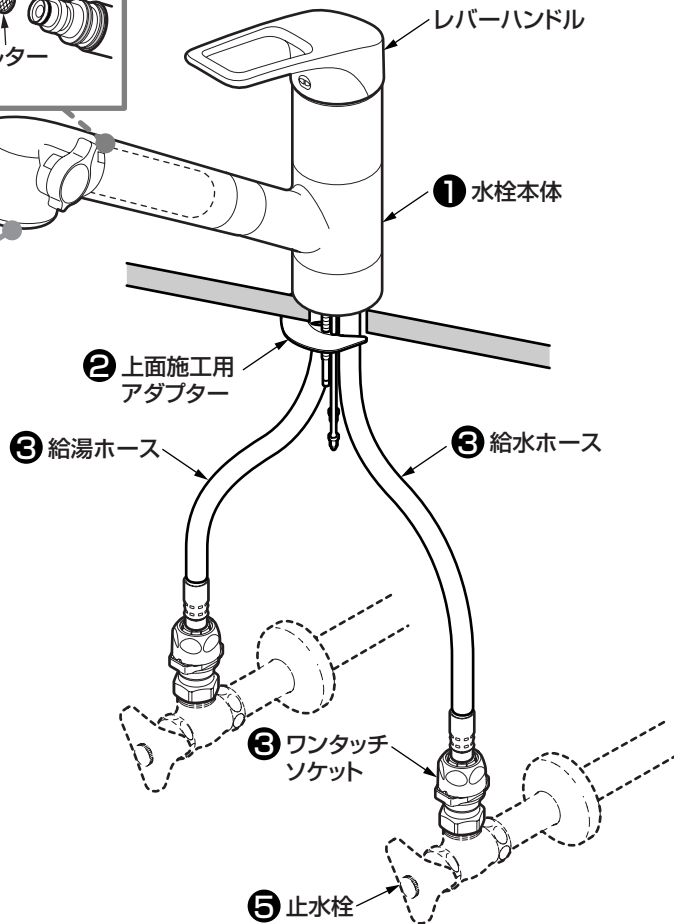
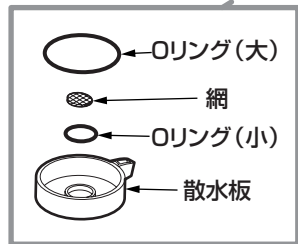
点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

④ フィルター



④ 吐水口



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 水栓本体固定ねじのゆるみはないですか？

↳ 6-3 - ③「水栓本体の取り付け」参照

② 上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

↳ 6-2 - ②「上面施工用アダプターの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3 - ④「給水・給湯ホースの接続」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ 吐水口・フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 8 ②.フィルターおよび吐水口の掃除 参照

⑤ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。